

お取引先とのかかわり

当社製品を安心して使用していただくため、当社ではISO9001に基づく品質保証体制を構築し、継続的な改善を図っております。

安全・安心な製品を提供するために

品質基本方針

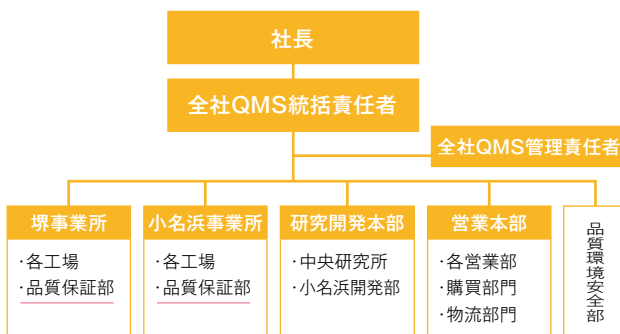
製品の安全性を重視し、高品質と低コストと安定供給を実現し、顧客満足向上のため品質マネジメントシステムの有効性について継続的な改善を図り、社会に貢献する

品質マネジメント活動

品質マネジメントシステム(QMS)の国際規格であるISO9001の認証を取得し、運用しています。

原材料調達から生産、お客様に製品をお届けするまでサプライチェーン全体を管理することで品質を保証し、より一層の顧客満足向上に努めています。

●品質マネジメントシステム機能組織図(2022年4月現在)



顧客満足向上への取り組み

●品質保証体制の強化(各事業所に品質保証部を新設)

2022年4月1日付で堺事業所と小名浜事業所に品質保証部を設立し、これまで各工場が担当していた品質保証業務と製品含有化学物質管理業務を集約・移管しました。

各事業所の品質保証部は、製品のリリース許可だけでなく、納入仕様書の締結、変更管理、苦情・異常処理、不適合製品処理などに関する権限を有する、工場から独立した専門性の高い部門となります。

今回の品質保証部の新設により、一層の製品品質への信頼性向上と品質保証体制の強化を目指します。

●試験成績書発行システムの導入

品質保証部の新設と同時に、試験成績書発行システムを全社的に導入しました。製品検査データをシステムに入力することで、社内規格や顧客仕様に対する合否が自動的に判定され、必要に応じて試験成績書をシステムチェックで発行できるようになりました。そして、一度入力された検査データは権限者が許可しない限り、修正することはできなくなりました。

このように試験成績書発行システムを活用し、検査結果の判定ミスによる不適合製品の流出や製品検査データの改ざんなどの予防を強化していきます。

製品含有化学物質管理に関する取り組み

●SDSの交付

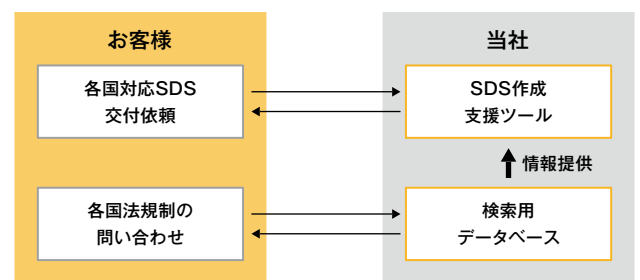
当社では、全製品で2019年に改正されたSDS作成に関する日本産業規格(JIS Z 7252 / 7253)に則り、安全データシート(以下、SDS)を作成し、お客様へ化学物質の危険性・有害性に関する情報を提供しています。

また、SDS作成支援ツールを導入し、確実なSDS作成に取り組んでいます。このツールにより複数の言語に対応したSDSが作成可能となります。

●法規制対応

当社では、対象となる法令・法規制に関する情報を定期的に入手し、全社およびグループ会社と共有しています。また、各国の法規制に関する情報を調査するためのツールとして検索用データベースを導入しています。本データベースは四半期ごとにアップデートされるため、各国の法改正に対して迅速に対応できます。

なお、本データベースの情報はSDS作成支援ツールと連携しており、各国のGHS分類等の区分に役立っています。



物流安全の取り組み

当社では、製品の安全な輸送のために、物流会社同席のうえ安全品質会議を開くほか、構内ルールの周知や構内巡視を行っています。物流会社には定期的に安全講習会を実施して、安全への対策に取り組んでいます。

また、化学物質輸送時の万一の事故に備え、運転手や消防・警察などの関係者がとるべき処置を記載した緊急連絡カード(イエローカード)を作成し、物流会社に配布しています。

お取引先とのかわり

責任ある調達を推進するために

当社は、「調達基本方針」を軸に、責任ある持続可能な調達を目指しております。それにはお取引先の当社方針に対する理解が大切であり、良好な関係作りや相互理解に努めております。

調達基本方針

1. 法令順守

当社は、調達を行うにあたり、関連法規を順守します。また、企業倫理に反する行為や概念を放棄します。

2. 環境・品質・安全への配慮

- ・環境基本方針に基づき、環境への配慮、保全を重く考え、取り組んでまいります。
- ・当社は、調達窓口として、経済性と環境への配慮を両立させることに努めます。
- ・品質基本方針に基づき、製品の安全性を重視し、高品質と低コストと安定供給を実現し、社会に貢献します。
- ・企業の社会的責任を常に念頭に置き、環境保全、資源保護、安全・人権などに配慮しながら、持続可能な社会を目指して職務を遂行します。

3. 公正・公平

- ・資材部は、職務の遂行のなか、全ての取引先様に広く門戸を開放します。
- ・取引先様の選定において、公正で公平な判断、誠実な対応を心がけます。
- ・そのうえで、取引先様との相互理解を深め、信頼関係を構築します。

購買先監査の実施

お取引先との信頼関係の構築・強化、原材料および副資材の品質と安全性の向上を目的に、お取引先の協力のもと必要に応じて購買先監査を実施しています。2021年度は、実地監査を3社、新型コロナウイルスのため、実地監査が困難な先には書面監査を3社実施しました。監査は「購買先監査チェックリスト」に基づき、品質管理体制、各種規制対応の確認を行い、お取引先には原材料・包装材料等副資材に要求される品質や管理体制についてご理解いただいています。

実地監査	3社
書面監査	3社

紛争鉱物に関する取り組み

コンゴ民主共和国およびその周辺諸国において、非人道的武装勢力の資金源となる可能性が指摘されている紛争鉱物については、必要に応じてお取引先に対し「購買先監査チェックリスト」またはCMRT*を送付して回答いただくことで紛争に関与していないこと(コンフリクトフリーであること)を確認しています。

当社の対象物質：タングステン、錫、タンタル、金

*CMRT: Conflict Minerals Reporting Template。RMI (Responsible Minerals Initiative)が発行する報告用テンプレート。

環境に配慮した原燃料の調達の促進

2050年のカーボンニュートラル社会の実現に貢献するため、2020年4月から東京ガス(株)からカーボンニュートラルLNG (CNL)の調達を開始しております。そのほかCNL以外にも、再生可能エネルギーの採用も検討・視野に入れ、一足飛びにはいきませんが、経済的な観点も考慮しつつ、まずは社内KPIで定めた2030年度のCO₂排出削減目標達成に向けてその調達量の増加や、その他CO₂排出量削減に資する原燃料の調達を進めていきます。



ESG情報共有プラットフォームへの登録

当社は、企業の環境、労働慣行・人権、倫理、調達などに関するアンケート回答や評価結果を共有するプラットフォーム (Sedex、EcoVadis) に登録しています。

EcoVadisについては、2022年度も小名浜事業所と堺事業所ともにゴールド評価を維持しました。



プラットフォーム	範囲
Sedex	松原工場
EcoVadis	小名浜事業所、堺事業所